

内視鏡室のご紹介

～より多くの方に質の高い診断・治療を～

歯科・口腔外科のご紹介

～口腔がんの診断・治療、顎変形症の矯正手術などで実績～

耳鼻咽喉科外来で働く 言語聴覚士の仕事について

禁煙外来のご案内
医療相談室のご案内

内視鏡室のご紹介

～より多くの方に質の高い診断・治療を～

現在の内視鏡室は、1994年4月に設立されました。検査室は、6部屋（うち1部屋はX線透視撮影装置を設置）で、内視鏡検査を受けられる方専用の待合室と12人収容可能なリカバリールームがあります。スタッフは、消化器内科医7名、呼吸器外科医1名、看護師8名、看護助手5名で、より多くの方に質の高い診断・治療を受けていただけるように日々努力しています。当院の理念「自分の身内もふくめ、患者さん全員が安心して受診できる医療環境を目指す」ことへの一環として、検査を受けていただく方に苦痛や恐怖心を与えないように、ほとんどの内視鏡検査は鎮静剤を使用しています。

多くの方々に支えられて、内視鏡検査件数は増えつづけ、当院開院の1981年から2007年までの27年間で、上部消化管内視鏡12万3932件、下部消化管内視鏡9万2230件、超音波内視鏡6789件、ERCP（内視鏡的胆管膵管造影）6740件、気管支鏡1万1090件、手術室内視鏡159件、総計24万940件の内視鏡検査・治療を行ってきました。昨年1年間では1万7350件、1日平均約70件の検査・治療が行われています。これまで特に大腸の内視鏡治療は膨大な件数を行ってきており、2006年には年間1221件の内視鏡治療（うち大腸がん治療は338件で本邦第一位：雑誌プレジデント誌による）が行われております。また最近では、食道がんと胃がん・胃腺腫の内視鏡治療件数（症例数）も増加してきています（推

移をグラフに示します）。

質を高める努力も行っており、2006年から主にがんの診断にHigh visionモニターでのNBI（特殊光による内視鏡）拡大観察が行われるようになりました。消化管がんの内視鏡治療に関しては、ESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）を導入し、質の高い治療を多くの方に提供することが可能になりました。

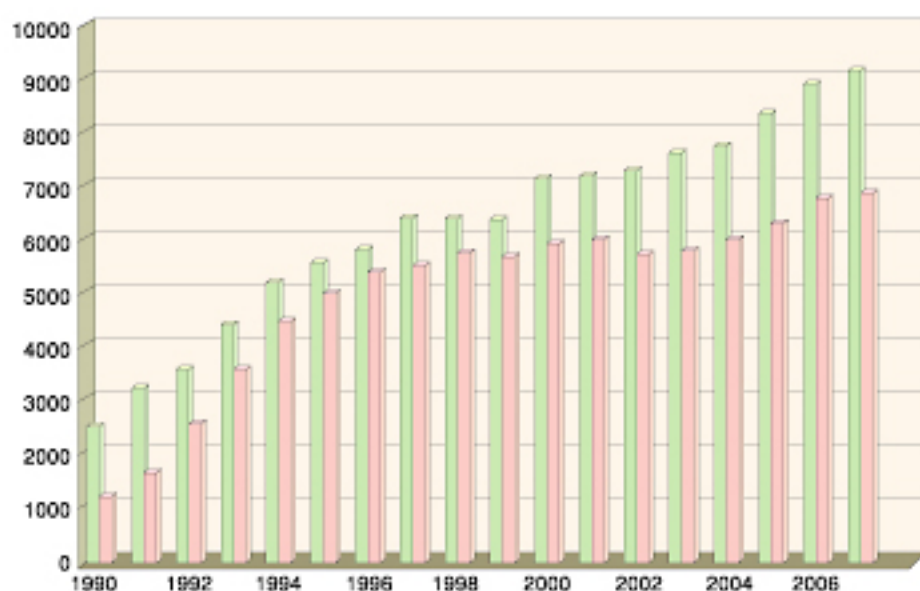
なお、情報管理の面では、2004年から電子カルテが導入され、内視鏡と病理検査のオーダー・診断結果の閲覧は全て電子カルテ上で可能になっています。安全面では患者さんの取り違えを防ぐために、手術室では既に実施されている手のひら静脈認証システム（富士通と提携開発）が導入される予定です。

より良い医療を更に多くの方々に提供するために、スタッフ一同これからも努力しつづけます。



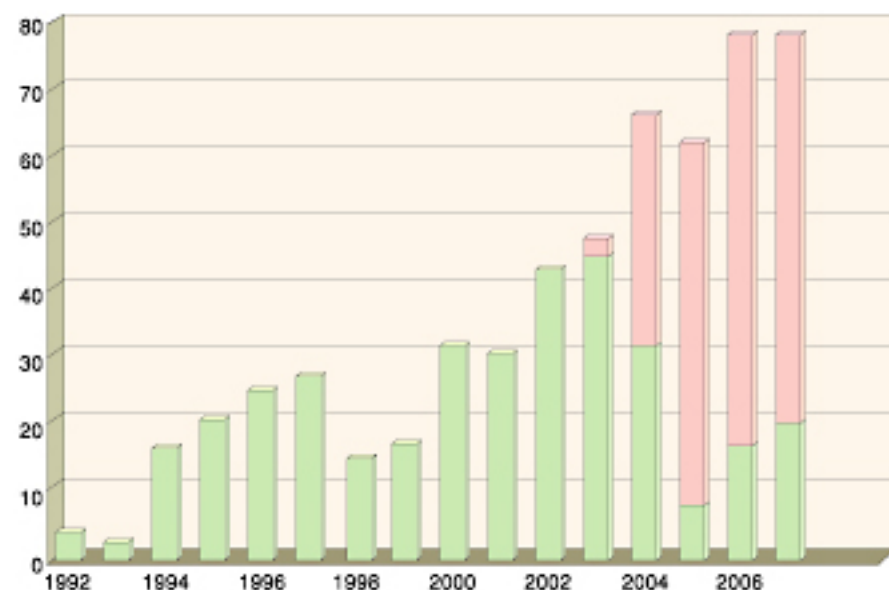
■内視鏡件数の推移

- 上部消化管 (GF)
- 下部消化管 (CF)



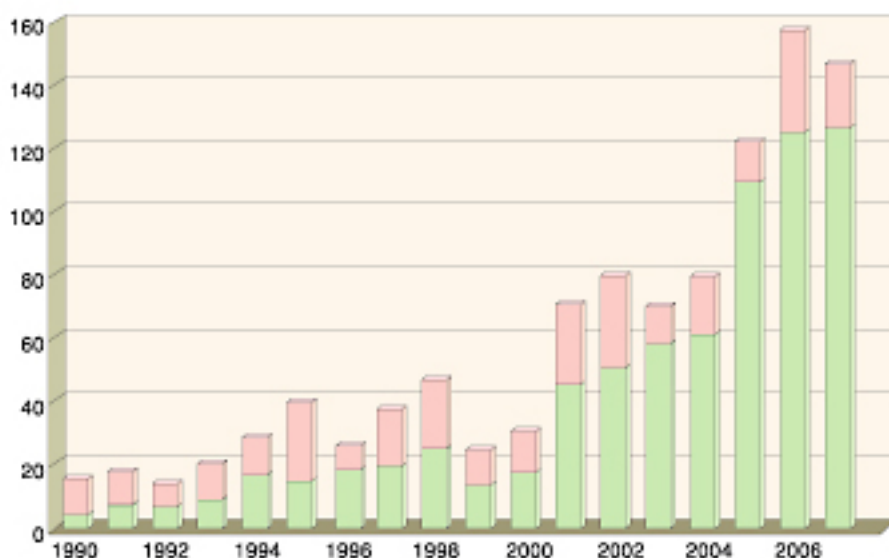
■食道がんの内視鏡治療件数

- 粘膜下層剥離術 (ESD)
- 粘膜切除術 (EMR)



■胃がん・胃腺腫の内視鏡治療件数

- 胃腺腫
- 胃がん



歯科・口腔外科のご紹介

～口腔がんの診断・治療、顎変形症の矯正手術などで実績～

歯科口腔外科及び歯科は1987年7月に恵佑会札幌病院の外科に次ぐ2番目の科として開設され、今年で満20周年を迎えました。

札幌市及び近隣市町村や道内全域の一次医療機関と連携し、主に2次、3次歯科口腔外科医療を行ってきました。

2007年度は新患数4287名、紹介率46%、1日平均外来患者数127名、入院患者数781名のうち、全身麻酔手術657例、局所麻酔手術1180例、静脈内鎮静法併用794例を行いました。



歯科・口腔外科の医師

歯科口腔外科での最大の特長はチームアプローチによる口腔がんの診断・治療です。初期がんから進行がんまでの切除手術、再建手術、放射線治療、浅側頭動脈からの動注化学療法、顎義歯（血管柄付き肩甲骨にインプラントを埋入など）を一貫して施行している日本でも数少ない施設のひとつです。2007年度の口腔がん新患数は78例で、良好な治療成績とQOLを最大限考慮した治療に取り組んでおり

ます。

また、反対咬合や顔面非対称などの顎変形症に対しては、札幌市内および近郊の歯科矯正専門医と連携して顎矯正手術を行っており、2007年度の手術例数は49例でした。

さらに外来手術では良性腫瘍の摘出や埋伏歯抜歯などの小手術を静脈内鎮静法で行ない、患者さんの精神的緊張を軽減し、循環動態を安定させ、安心・安全で良質な治療を心がけております。

顎関節症のMRIを用いた診断やスプリントや関節鏡による治療までも一貫して行っております。

一般歯科治療においても、歯科治療恐怖症の患者さんに対しては静脈内鎮静法を用いており、評判も上々で喜んでいただいております。

よりよいQOLを求める患者さんに対しては、どのような要求にも最大限応えられるように、インプラント治療、金属床義歯、金具の見えない義歯、歯の漂白などの保険外診療も行っております。



歯科・口腔外科の歯科衛生士

スタッフは、歯科医師が10名でその内4名が口腔外科医(指導医1名、専門医1名)、2名が補綴専門医、4名は研修医です。歯科衛生士は11名で、外来では通常の歯周治療や予防業務



歯科・口腔外科の受付

そして治療の助手をしておりますし、病棟においては入院患者さんの口腔ケアなどの業務を看護師と協同で行っております。外来受付事務は5名で医事コンピューターによる入力、予約全般、カルテの出し入れ、電話対応、各種伝票の整理等を行っております。

業務は電子カルテシステムにてスピーディーな対応に努めております。

病棟の看護師は、極めて有用なコワーカーとして病棟業務をこなしております。

これからもさらに良い医療を目指し、スタッフ一同頑張っていきたいと思っております。

8月16日(土)に開院しました。



医療法人 恵佑会

歯科口腔外科クリニック

院長 中嶋 頼俊 歯科医師 石山 司

診療科目 / 歯科口腔外科・歯科 口腔外科的な治療や口腔内科的な治療(ドライマウス、舌炎、舌痛症、口腔粘膜疾患)を中心にいたします。

- 診療時間 ■月～金曜 午前 / 9:30～13:30
午後 / 14:30～18:00
■土 曜 9:30～15:00
※日曜・祝日は休診

- 交通機関 ■地下鉄大通駅下車、10番出口、徒歩2分
■市電西4丁目駅下車

〒060-0061 札幌市中央区南1条西4丁目5番1 大手町ビル6階
TEL (011) 788-8261 FAX (011) 788-8262



耳鼻咽喉科外来で働く 言語聴覚士の仕事について

当院では平成11年、初めて言語聴覚士が採用されました。現在ではその数も増えて3名が耳鼻咽喉科外来で常勤しております。

今回は、耳鼻咽喉科外来での言語聴覚士の仕事についてご紹介いたします。

言語聴覚士とはことばによるコミュニケーションに問題がある方や摂食・嚥下^{えんげ}に問題のある方を検査して評価を実施、必要に応じて訓練や指導といった援助を行う専門職です。

ことばによるコミュニケーションの問題は、小さなお子さんの言葉の発達遅延や発声・発音障害から脳卒中後の失語症や聴覚障害など幅広い年齢層にわたって現れます。

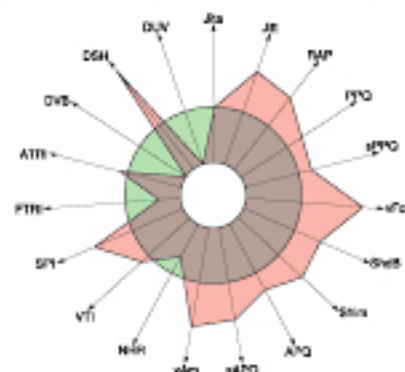
当院では特に声帯結節やポリープ様声帯といった疾患の方々の音声治療に力を入れております。ビデオ等を活用して患者さんと言語聴覚士が声帯の状態を視覚的に確認するのはもちろんのこと、さらにコンピュートースピーチラボ(CSL)という音声分析機器を用いることで、音声の状態を視覚的に確認して訓練を進めています。視覚的に声帯や音声の状態を評価することで、患者さん自身もわかりやすい訓練・指導になるものと考えております。これら以外にも各種方法を組み合わせて、各々の患者さんに合わせた声の衛生指導や発声法の指導を行っております。

また、喉頭がん等で喉頭を摘出された患者さんに対して、食道発声や電気式人工喉頭の使用といった新しい発声法を獲得するためのリハビリテーションや補聴器の相談・調整についても行っております。

今後も、耳鼻咽喉科医師や他職種との連携を図りながら、患者さんがその方らしい楽しいことばのコミュニケーションを取れるよう、お手伝いさせていただきます。

音声治療前

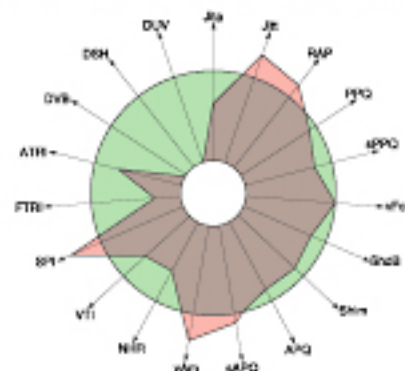
赤の部分は検査結果を示し、緑色は正常範囲を示す



赤の部分が大きく、正常範囲から逸脱し、音声がかすれている事を示す

音声治療後

赤の部分は検査結果を示し、緑色は正常範囲を示す



赤の部分がほぼ正常範囲内に入り、音声が改善している事を示す



禁煙外来のご案内

呼吸器外科では、2008年7月より「禁煙外来」を開設しました。禁煙外来では、「ニコチン依存症」の治療として、12週間のプログラムに基づいて禁煙治療を行います。以下の条件を満たした方が対象となり、健康保険が適用されます。

- 1 直ちに禁煙をしようと考えていること
- 2 ニコチン依存症のスクリーニングテスト(TDS)が5点以上であること
(受診時に実施します。簡単なアンケート形式です)
- 3 ブリンクマン指数(1日喫煙本数×喫煙年数)が200以上であること
- 4 禁煙治療を受けることを文書により同意していること

健康保険適用時の金額(12週間プログラムの合計)

1割負担の方:4,580円、3割負担の方:13,730円 ※金額につきましては、あくまでも概算となっております。

外来受診日:毎週月曜14:00~16:00(完全予約制)

予約受付:地域医療連携室(直通011-863-8800)

平日の月~金曜 14:00~17:00の間にお電話ください。

医療相談室のご案内

ご自身やご家族が病気になると、健康なときには考えなかったような悩み、心配事が起きることがあります。このような時に皆様のお力になれるよう医療ソーシャルワーカー(社会福祉士)が相談をお受けいたします。

- ◆ 医療費や生活費に関すること
- ◆ 入院についての不安・心配事
- ◆ 退院後の生活や療養についての心配
- ◆ 健康保険や年金等の社会保障制度に関すること
- ◆ 介護保険や身体障害者手帳などの社会福祉制度に関すること
- ◆ 誰に相談して良いかわからないこと



等について、ともに考え、解決に向けてお手伝いいたしております。

ご相談内容についての秘密は厳守いたします。相談は無料です。ご希望の際には、右記宛にご連絡、もしくは1階総合受付に声をお掛けください。医療ソーシャルワーカーが対応いたします。

お問い合わせは

☎011-863-2101(病院代表)

受付時間/9:00~17:00(平日の月~金)

医療ソーシャルワーカー

くすみ

久住、荒川、石井、福士

医療法人 恵佑会札幌病院

理事長・院長 細川 正夫

■所在地 〒003-0027
札幌市白石区本通14丁目北1番1号

■電話・FAX番号 TEL 011-863-2101 (代表)
FAX 011-864-1032

■診療科目 外科・消化器科・呼吸器科・気管食道科・
呼吸器外科・耳鼻咽喉科・形成外科・放射線科・
麻酔科・泌尿器科・アレルギー科(耳鼻)・
歯科・歯科口腔外科

■病床数 一般272床(内24床緩和ケア病棟)

■併設施設 恵佑会臨床病理学研究所
恵佑会放射線画像センター

■面会時間 平 日 午後3:00～午後7:30
土日・祝日 午前10:00～午後7:30

■各病棟電話番号 [1病棟] ☎864-9958 [2病棟] ☎864-9979
[3病棟] ☎864-9980 [4病棟] ☎864-4276
[5病棟] ☎864-4278 [6病棟] ☎864-4277
(午後9:00以降のお電話は、緊急時以外ご遠慮ください)

■交通機関 地下鉄／東西線「南郷13丁目」駅下車、徒歩約7分
(3番出口より国道12号線方面へ約500メートル)
JR北海道バス／JR北海道バスターミナル
札幌駅・新札幌駅・北広島方面より
1、1-1、13、15、22、24、26、33、34に
ご乗車ください。
中央バス／地下鉄東西線白石駅バスターミナルより
34にご乗車ください。
バスはすべて「白石神社前」で下車(快速以外は停車いたします)

